資料３－２－１

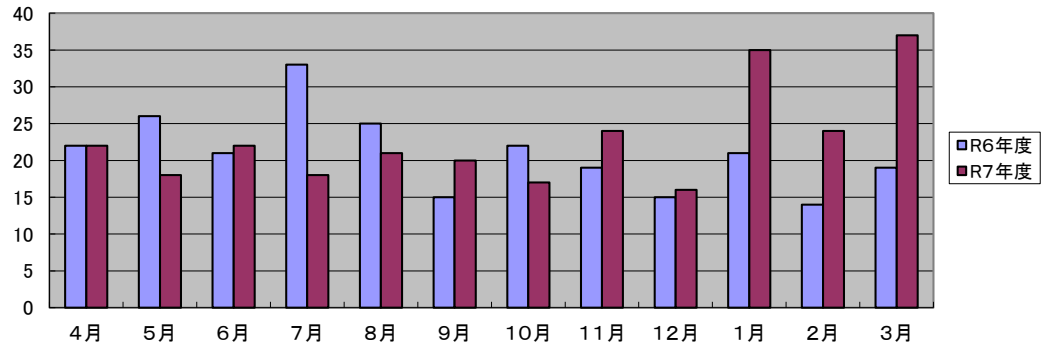
令和7年度　高次脳機能障害相談窓口への相談実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談対応件数		38	28	39	35	28	30	25	33	22	47	28	48	401
内訳	新規	22	18	22	18	21	20	17	24	16	35	24	37	274
	継続	16	10	17	17	7	10	8	9	6	12	4	11	127

R6年度 3月まで	R6年度 比　%
424	94.6
252	108.7
172	73.8

新規相談受付件数

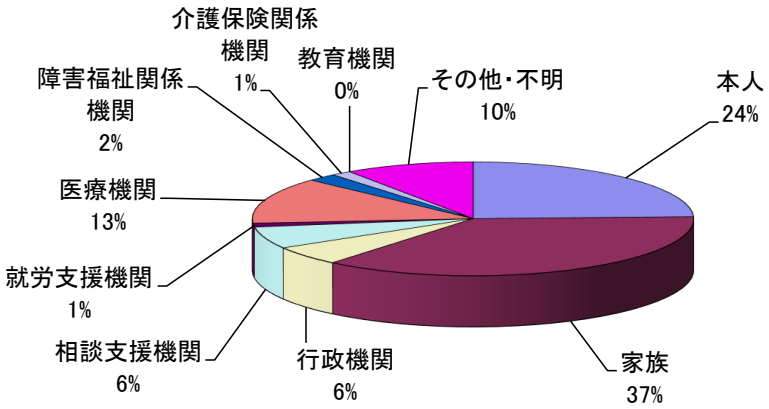
【総数　274 件】



［新規相談受付件数について］
令和7年4月から令和8年3月までの累計件数は、前年度よりも微増
（R5:259件、R6：252件、R7:274件）
新規相談は8.7%増
継続相談は26.2%減

※令和元年度から令和5年度まで減少傾向、令和5年度から令和6年度は横ばい、令和7年度は微増となった

相談者（新規相談）



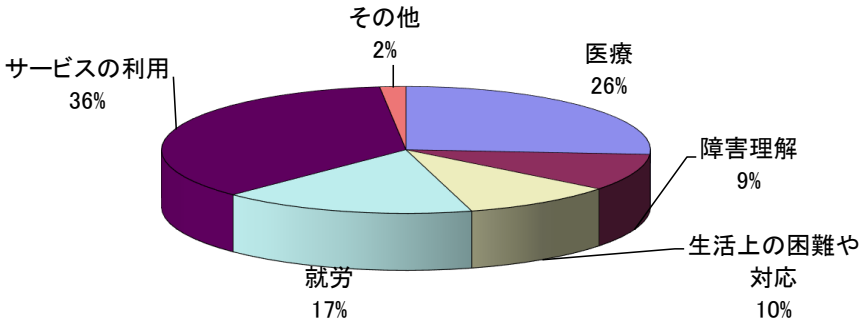
○　相談者について

令和7年度4月から令和8年3月までの累計では、昨年度と比較し、本人、家族からの相談がほぼ同じ、医療機関からの相談が微増した。

［R6からR7の数値変化］
本人：　25%→24%
家族：　38%→37%
医療機関：11%→13%

相談内容（新規相談）

※1件につき複数の相談内容が計上されているものもある。



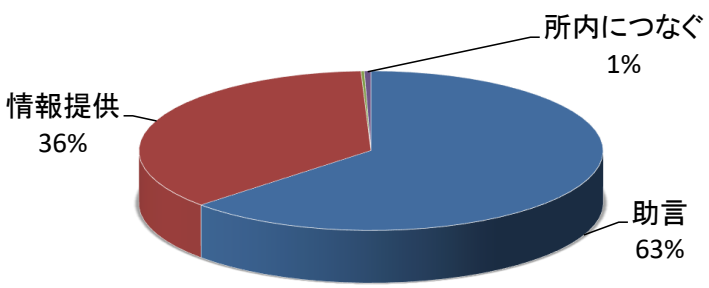
○　相談内容について

令和7年度の累計では、昨年度に比べて、医療・サービスの利用についてが増。障害理解、生活上の困難や対応が減、

［R6からR7の数値変化］
医療：20%→26%
障害理解：14%→9%
生活上の困難や対応：16%→10%
サービスの利用：28%→36%

対応（新規相談）

※1件につき複数の相談内容が計上されているものもある。



○　対応について
令和7年度での累計では、昨年度同比べてほぼ同じ数値であった。
助言：65%→63%
情報提供：33%→36%
助言と情報提供を合わせると99%となっている。